

個人質問

議会事務局 処理欄	令和5年2月13日 11時57分 受付
	質問順位 第6番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和5年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 認知症が原因による迷い人の対策について</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>近年、認知症高齢者の行方不明者数が増加しています。警察庁の統計によると、令和3年における行方不明者は79,218人。年齢層別では20歳代が最も多く2番目は10歳代。そして、3番目は80歳代で12,706人でした。また、原因、動機別では、疾病関係が最も多く、このうち認知症又はその疑いによるものは17,636人とのことです。</p> <p>高齢者の方に多く見られる認知症の症状により、外出中に自分がどこにいるのか、自分の家がどこなのかわからなくなってしまい、行方不明になってしまうことがあるようです。</p> <p>認知症の方の行方不明は、命にかかわるような危険を伴う可能性があります。行方不明が発生してから時間が経過するほど、発見率が落ち、死亡率や未発見率が高まるそうです。</p> <p>ここで、2016年の若干古いデータではありますが、認知症高齢者の行方不明者数15,432人の内、死亡発見が471人、未発見が171人に上がっています。認知症の予防と共に認知症に伴う行方不明を防ぎ、安心して暮らせる地域をつくっていくことは、本町にとっても大変重要なまちづくりの1つであると考えます。</p> <p>認知症による行方不明が発生してから家族や一部の人が慌てて場当たり的に探すのでは、発見にどうしても時間がかかってしまいます。そのため、地域でご協力いただける多様な関係者が連携して効率的に行方不明者の発見に努めることを目的にSOSネットワークの充実は極めて重要です。</p> <p>本町においては「認知症迷い人SOS・情報ネットワーク」があります。認知症の人が行方不明になった場合に、地域の団体等へ迷い人情報をいち早く配信することで、迷い人の早期発見につなげるためのしくみです。</p> <p>認知症の方ができるだけ住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らせるために本町において認知症が原因による迷い人の対策について4点の質問をさせていただきます。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 本町の認知症支援体制の現状と今後の取り組みは。</p> <p>② 本町における認知症高齢者の人数は。</p> <p>③ 認知症高齢者の方が迷い人となった場合、どのような対応になるのか。</p> <p>④ 認知症迷い人SOS情報ネットワーク事業の取り組み状況は。</p>